

四国では唯一の調査拠点 高知にて1月24日エコチル調査スタート

概要

環境省による「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」がいよいよ1月24日より始まります。高知大学は全国15か所の拠点（ユニットセンター）のひとつ、四国では唯一のユニットセンターとして調査を始めます。

背景

戦後の著しい経済成長の中、医療の進歩により、多くの幼い命が救われてきた一方、アレルギー・代謝異常・先天奇形など子どもの健康に関する様々な問題が増加傾向にあります。例えば、日本では、喘息児はこの20年間で3倍に、肥満傾向児は30年で1.5倍に、ダウン症などの先天異常はこの25年間で2倍となっており、国内外で子どもの健康と環境について関心が高まっています。

さらに、発達途上にある小児は、身体的特徴・行動特性・化学物質の体内動態が成人とは異なり、子ども特有の脆弱性があること、かつ、環境リスクを調べるために従来から行われてきた動物実験だけでは、形態学的・生理学的な種差から、実験結果をヒトにそのままあてはめることは難しいことから、ヒトの子どもの集団を観察する疫学的なアプローチの重要性も高まってきました。

世界的には、1997年、米国マイアミで開催されたG8環境大臣会合において「子どもの健康と環境」に関する宣言が出された後、デンマーク・ノルウェー・米国で、それぞれ10万人規模の子どもの対象とする疫学調査が始まり、2009年イタリア・シラクサにて開催されたG8環境大臣会合において、環境中の有害物質に対する子どもの脆弱性についての問題の重要性が再認識され、各国が協力して取り組むことが合意されました。こうして、日本でも、環境省による「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」が2011年1月24日より始まります。

内容

エコチル調査は、「胎児期から小児期にかけての化学物質暴露が、子どもの健康に大きな影響を与えているのではないか？」という中心仮説をもとに、2011年1月から3年間で、日本全国で10万組の親子に参加をお願いして、妊娠初期の段階からその子どもが13歳になるまで、妊婦健診・乳幼児健診時等を利用して、採血・採尿・アンケート調査等を行い追跡調査をする、日本で初めての大規模な出生コホート調査です。北海道から沖縄まで、全国15か所の拠点（ユニットセンター）にて、約300の医療機関の協力を得て行うこの調査、高知大学は四国で唯一のユニットセンターとして認定され、高知市・南国市・四万十市・構原町の4調査地域において、3年間で5000組のリクルートを予定しています。

エコチル調査の目的は、近年増加傾向にある子ども達の健康の問題と、急激に変化してきた私たちの周りの環境や生活習慣との因果関係を明らかにすることで、将来、化学物質等に関するより適切な制度作り・リスク管理の構築を実施できるようにする、というものです。1) 妊娠・生殖 2) 先天奇形 3) 精神神経発達 4) 免疫・アレルギー 5) 代謝・内分泌 6) 精神神経発達の 6 分野を中心に仮説を設定し、指標となるアウトカムを測定すると共に、化学物質への曝露評価と、それ以外の環境要因・遺伝要因・社会要因・生活習慣要因などの交絡・修飾因子についての検討も行います。

実際には、環境省の研修を受けたRC（リサーチコーディネーター）が高知大学から各協力医療機関に配置され、妊娠初期の妊婦さんに説明をし、同意をいただいて調査が始まります。妊婦健診時に少し多めにエコチル用に採血・採尿をする他、分娩後に臍帯血、母子の毛髪や母乳などの生体試料をいただきます。その他、妊娠中から年 2 回程度の質問票に答えていただきます。（同意取得後も何らかの理由で参加を取り消すことはいつでも可能。）お父さんの参加は任意で、ご協力いただける場合は、採血と質問票調査が 1 回あります。出産後は、生後 1 か月の健診・その後の乳幼児健診の機会を利用し、半年ごとの質問票調査で、13 歳まで追跡調査を行います。参加者には、ニュースレターやホームページを通じて調査の進捗状況や子育てに役立つ情報が提供されます。

効果

エコチル調査を高知県で行うことは、将来のより健康な環境づくりのための制度への貢献の他にも、多くのことが期待できます。高知の自然の素晴らしさが客観的なデータとして出てくるであろうという期待だけでなく、産科と小児科の分野が連携した包括的なこの調査を通じて、1) 小児保健・環境医学分野におけるさらなる人材の育成、2) 大人も含む、県全体としての健康への意識・健診率等の向上、3) 地域における、自治体・医療機関・大学など様々な機関の協力体制の強化、4) 既存の、県や自治体の小児保健分野での活動（高知大学の精神神経発達障害早期発見プロジェクトや構原町の学童検診「すこやか健診」など）の強化等です。また、海外での同じような出生コホート調査と連携することで、高知発の世界への貢献も期待できます。

こうちエコチル調査HP：<http://kochi-ecochil.jp>

環境省のエコチル調査HP：<http://www.env.go.jp/chemi/ceb/index.html>

環境省によるエコチル調査コールセンター：0120-535-252